

河合塾・大竹先生による

## 先生方のための徹底入試対策講座

## 第128回 「2次試験」直前40日大作戦！

共通テストから40日後に国公立大学2次試験です。共通テストの後の40日は、受験生にとって合格を目指して頑張りがいのある時期ですね。たった40日と思うかもしれませんが、しかし、受験勉強を昨年の2月26日からスタートした受験生はほとんどいないでしょうね。5月の連休明けあたりから本格的にスタート、という人が多いでしょう。そう考えると、受験勉強の期間は正味9カ月半ぐらいかな。まだ約15%ほどが残っています。共通テストの後で2次試験の科目だけに専念できること、2次試験に近いことを考えれば、

受験勉強の期間の実質2~3割が残っている！これから勝負！！

ですね。

この40日間にできる2次対策を考えます。（私大入試は大学によりその出題形式や傾向が多様で、直接参考にならないかもしれませんが、対策のヒントにして下さいね。）

.....

### 1 2次試験の「数学」は、「共通テストの数学」とは別物である。

共通テストは思考力を問う出題と言われていますが、この思考力は「数学的な思考力とは異なる」ということに注意してください。共通テストの数学的な内容は、基本的な数学の操作だけで、その難しさは数学の難しさとは少し違うところにあります。今は共通テストの分析をしても意味がないので、これ以上述べませんが、

共通テストの勉強をたくさんやったので2次試験の数学（数学Ⅲを除いて）対策も大丈夫、とは言えない

ということには十分注意してください。

### 2 過去問が解けない！？

無理ありません。少なくとも2~3週間は共通テストの勉強を中心にやってきたのであれば、思考が共通テスト的になってしまっているのが記述式の問題が解けないというスランプに陥りやすいのです。

ここで、焦ってはいけません。

ゆっくりと、じっくりと、記述式の問題を解き続けることです。早ければ数日で回復します。大量の問題演習をすることで、思考が戻ってきます。安心して、頑張ってくださいね。

### 3 読むだけの復習は学力につながらないことが多い

2次試験が近づいてきたので、定理、公式、解法などのまとめに入ろうと、広義のノートや参考書を

読むだけの勉強は学力につながらない

ことがあります。自ら、考え解いてみるという姿勢が大切です。

このような実例があります。ある受験生が試験問題にあった の因数分解が出来ず、しかしこの類の計算は予備校のテキストにあったことは思い出すけどどうしたらいいかわからず、悔しい思いをしたとか。

$$x^4 + 4 = (x^2 + 2)^2 - 4x^2 = (x^2 + 2x + 2)(x^2 - 2x + 2)$$

とするところ、苦し紛れに

$$x^4 + 4 = (x^2 + 2i)(x^2 - 2i) = (x + \sqrt{2i})(x - \sqrt{2i})(x + i\sqrt{2i})(x - i\sqrt{2i}) \quad (\text{誤り})$$

としたそうです。習ったことなのにどうしてもできなかったのだらうと悔しがっていましたが、自ら計算して確認していなかったからですね。

#### 4 2021年度の国公立大入試の数学は、例年と大きく違う要素があった

コロナウイルスによるパンデミックという異常事態下で、2021年度の大学入試の数学は例年より易しいあるいは類型にはまった問題を出した大学が少なくありません。多くの高校では授業が十分に余裕ある状況ではなく、それゆえ、文科省が出題の配慮を求めたことに因るのでしょう。

2021年度入試の数学の問題が易しくなった大学は、2022年度も同様に易しいままとは限らない

のです。2019年度、2020年度の問題を見てその流れの中で、難易度なども考慮したいですね。ここにも注意したいですね。

#### 5 その他（共通テスト対策で先月以前に書いてきたことで、2次対策にも共通のもの）

- ① 不安な分野が残っていれば1週間で解消する  
もし、どうしても不安な分野が残っていれば、1週間で徹底的に集中対策。毎日5時間7日間ぐらいで、かなり得意分野にできますよね。
- ② 本番と同じ試験時間帯で予行演習  
実際の試験の日は昼食を挟むのでそれも含めて予行演習です。その前後の体調なども確認し本番に備えれば、万全です。
- ③ 計算ミスを防ぐトレーニング  
計算やグラフなどははできるだけコンパクトに整然と。余白の量も考えておくことなど、確認しておきましょうね。